



平成27年7月28日

河川における魚類のへい死の発生について (第2報)

平成27年7月25日付けで発表しました「河川における魚類のへい死の発生について」に関して、原因の調査及び水質分析を実施しておりましたが、調査結果をお知らせします。

1. 調査結果

1) 現地で採取した水の分析結果

pH、DO、残留塩素、農薬類(160種類)について検査した結果は別紙のとおりです。

なお、原因は特定できませんでした。

※分析機関：岡山県環境保健センター

2) 7月25日に現地状況を目視により確認した結果、水の濁りや汚れ、油膜は確認できず、現場付近でも小魚が泳いでいるのを確認しました。

2. 今後について

今後、特段の異常が見られない場合、本件で情報提供を終わります。

問 い 合 わ せ 先

岡山三川水質汚濁防止連絡協議会 事務局

中国地方整備局 岡山河川事務所

電話 086-223-5196 (防災情報課直通)

【担当者】 副所長(調査) 川島 明昌(内線204)

防災情報課長 こばたけ 小畑 哲也(内線281)

なお、水質の分析結果に関する問い合わせ先は以下にお願いします。

岡山県環境文化部 環境管理課

電話 086-226-7301

【担当者】高橋、井戸

平成27年7月24日に高梁市原田南町地内で発生した魚類の
へい死事象における用水の分析結果

1 分析結果

採水地点		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4
項 目					
採水日時		7月24日 19:00	7月25日 9:05	7月25日 9:12	7月25日 8:52
pH		7.7	7.6	7.8	8.1
DO (溶存酸素量) (mg/L)		7.2	8.2	8.6	9.6
残留塩素 (mg/L)		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
農 薬 類	ブロマシル (μ g/L)	0.4	0.2	0.3	0.3
	その他農薬類 (159種類)	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず

【参考】

- ・ブロマシルの魚類致死量 (急性毒性: LC50 (半数致死濃度))
96,700 μ g/L (コイ)

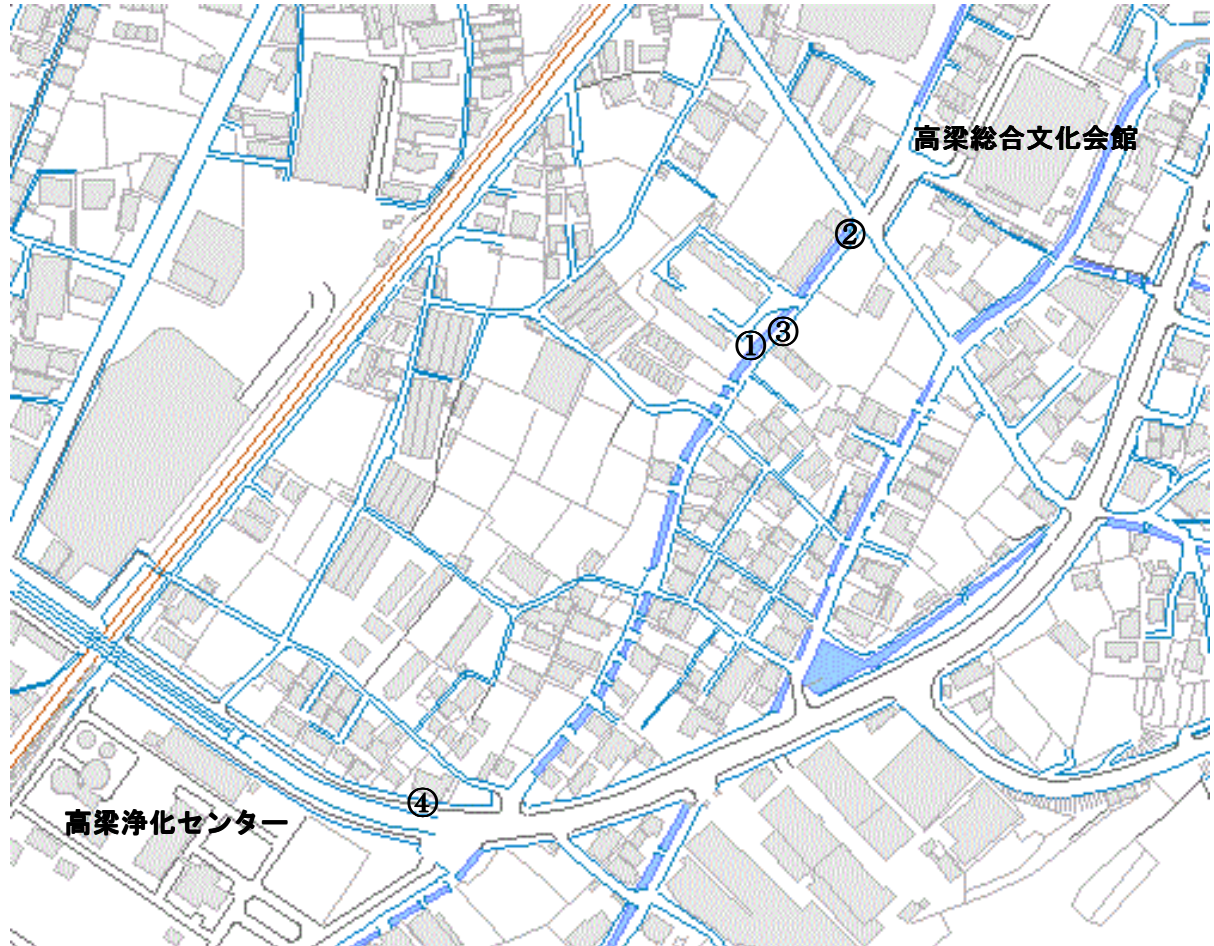
2 見 解

水質検査の結果、採水時点で農薬が1種類検出されたが、魚のへい死原因と推定できる濃度ではなかった。

また、溶存酸素量は十分であり、酸素欠乏による影響は考えられない。

さらに、pHは中性付近であり、残留塩素も検出されなかったことから、それらの影響も考えられない。

採水地点



※①と③は同一地点